

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	京都府
		市町村・組合名	
		病院名	洛南病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,227 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	61.8	64.5	65.9
感染症	-	-	-	-
計	256	61.8	64.5	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,610,353	
決算規模(千円)	866,555,966	
標準財政規模(千円)	507,506,472	
財政力指数	0.58619	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	292.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.2
修正医業収益(千円)	1,669,706

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,649,954			
1 経常収益	2,648,661			
(1) 医業収益	1,694,581			
入院収益	1,316,631			
外来収益	345,727			
診療収入計	1,662,358			
その他医業収益	32,223			
(うち他会計負担金)	24,875			
(2) 医業外収益	954,080			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	943,032			
(うち長期前受金戻入)	3,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,293			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,655,896			
2 経常費用	2,653,934			
(1) 医業費用	2,601,926			
職員給与費	1,900,029	112.1	55.7	98.9
材料費	203,484	12.0	24.7	8.8
(うち薬品費)	156,515	9.2	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,996	0.4	11.0	1.1
減価償却費	90,203	5.3	9.0	12.7
経費	401,724	23.7	23.3	34.6
(うち委託料)	185,109	10.9	11.5	17.1
研究研修費	6,344			
資産減耗費	142			
(2) 医業外費用	52,008			
(うち支払利息)	1,567	0.1	1.4	2.9
(3) 特別損失	1,962			
損益				
経常損益	-5,273			
純損益	-5,942			
累積欠損金	4,291,275			
経常収支比率	99.8		97.7	98.9
医業収支比率	65.1		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.5		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	57.1		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	36.5		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	63.3		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,741,653
1 固定資産	2,430,477
(1) 有形固定資産	2,384,763
(2) 無形固定資産	23,504
(3) 投資その他の資産	22,210
2 流動資産	2,311,176
(1) 現金及び預金	2,046,270
(2) 未収金及び未収収益	254,651
(3) 貸倒引当金()	262
(4) 貯蔵品	10,517
3 繰延資産	-
負債合計	925,702
1 固定負債	343,875
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,995
(2) その他の企業債	28,880
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	502,614
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,866
(2) その他の企業債	2,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	124,887
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	268,391
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,213
(1) 長期前受金	209,959
(2) 長期前受金収益化累計額()	130,746
資本合計	3,815,951
1 資本金	25,716,728
2 剰余金	-21,900,777
(1) 資本金剰余金	334,644
(2) 利益剰余金	-22,235,421
負債・資本合計	4,741,653
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	967,256	967,907
資本勘定繰入	-	-
計	967,256	967,907

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1312.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	京都府
		市町村・組合名	
		病院名	与謝の海病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	2,610,353	
決算規模（千円）	866,555,966	
標準財政規模（千円）	507,506,472	
財政力指数	0.58619	
経常収支比率（%）	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.8
	将来負担比率（%）	292.9

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,091			
1 経常収益	25,091			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	25,091			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	25,091			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,091			
2 経常費用	25,091			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,091			
(うち支払利息)	25,091	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,944,146			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	-		85.7	83.5

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	16,724	25,091
資本勘定繰入	91,183	136,775
計	107,907	161,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	1312.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	福知山市
				病院名	福知山市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,284 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	344	91.8	94.0	96.0
療養	-	-	-	-
結核	6	9.3	10.0	8.2
精神	-	-	-	-
感染症	4	4.1	-	-
計	354	89.0	90.6	92.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	12.3	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	78,935	
決算規模(千円)	43,685,988	
標準財政規模(千円)	23,177,525	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	51.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.0
修正医業収益(千円)	11,983,016

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,590,794			
1 経常収益	13,264,017			
(1) 医業収益	12,219,667			
入院収益	7,334,082			
外来収益	4,071,487			
診療収入計	11,405,569			
その他医業収益	814,098			
(うち他会計負担金)	236,651			
(2) 医業外収益	1,044,350			
(うち国・都道府県補助金)	44,162			
(うち他会計補助・負担金)	523,708			
(うち長期前受金戻入)	388,501			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,326,777			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,199,065			
2 経常費用	13,159,717			
(1) 医業費用	12,358,593			
職員給与費	5,131,313	42.0	55.7	57.0
材料費	3,348,463	27.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	2,205,381	18.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,143,082	9.4	11.0	11.3
減価償却費	1,027,541	8.4	9.0	9.3
経費	2,786,501	22.8	23.3	22.1
(うち委託料)	1,041,871	8.5	11.5	11.1
研究研修費	53,766			
資産減耗費	11,009			
(2) 医業外費用	801,124			
(うち支払利息)	154,018	1.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	39,348			
損益				
経常損益	104,300			
純損益	1,391,729			
累積欠損金	660,549			
経常収支比率	100.8		97.7	96.4
医業収支比率	98.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	95.0		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,100,790
1 固定資産	17,201,889
(1) 有形固定資産	16,800,153
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	401,736
2 流動資産	6,898,901
(1) 現金及び預金	4,895,494
(2) 未収金及び未収収益	1,974,968
(3) 貸倒引当金()	5,172
(4) 貯蔵品	32,239
3 繰延資産	-
負債合計	12,214,877
1 固定負債	8,660,234
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,351,171
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	309,063
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,004,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	790,753
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,928
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	807,653
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,549,962
(1) 長期前受金	4,715,766
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,165,804
資本合計	11,885,913
1 資本金	4,967,857
2 剰余金	6,918,056
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-462,140
負債・資本合計	24,100,790
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,005,934	760,359
資本勘定繰入	425,281	417,643
計	1,431,215	1,178,002

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	福知山市
				病院名	福知山市民病院 大江分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m ²	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	3	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	85.5	82.6	84.3
療養	28	92.5	95.9	97.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	68	88.3	87.8	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	20.0	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	78,935	
決算規模(千円)	43,685,988	
標準財政規模(千円)	23,177,525	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	51.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	627,652

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	988,653			
1 経常収益	834,298			
(1) 医業収益	627,652			
入院収益	484,064			
外来収益	128,667			
診療収入計	612,731			
その他医業収益	14,921			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	206,646			
(うち国・都道府県補助金)	688			
(うち他会計補助・負担金)	69,001			
(うち長期前受金戻入)	100,846			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,355			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	810,653			
2 経常費用	809,842			
(1) 医業費用	751,553			
職員給与費	425,071	67.7	55.7	72.6
材料費	42,563	6.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	32,933	5.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,630	1.5	11.0	5.6
減価償却費	101,250	16.1	9.0	11.1
経費	180,372	28.7	23.3	31.9
(うち委託料)	55,431	8.8	11.5	13.0
研究研修費	2,222			
資産減耗費	75			
(2) 医業外費用	58,289			
(うち支払利息)	3,200	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	811			
損益				
経常損益	24,456			
純損益	178,000			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.0		97.7	97.4
医業収支比率	83.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	94.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,100,790
1 固定資産	17,201,889
(1) 有形固定資産	16,800,153
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	401,736
2 流動資産	6,898,901
(1) 現金及び預金	4,895,494
(2) 未収金及び未収収益	1,974,968
(3) 貸倒引当金()	5,172
(4) 貯蔵品	32,239
3 繰延資産	-
負債合計	12,214,877
1 固定負債	8,660,234
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,351,171
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	309,063
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,004,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	790,753
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,928
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	807,653
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,549,962
(1) 長期前受金	4,715,766
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,165,804
資本合計	11,885,913
1 資本金	4,967,857
2 剰余金	6,918,056
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-462,140
負債・資本合計	24,100,790
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	72,399	69,001
資本勘定繰入	32,637	63,060
計	105,036	132,061

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	舞鶴市
	病院名	舞鶴市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	4,671 m ²	指定病院の状況	へ
診療科数	4	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	100	97.7	94.7	93.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	97.7	94.7	93.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	83,990	
決算規模(千円)	34,001,279	
標準財政規模(千円)	19,099,011	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	111.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.7
修正医業収益(千円)	747,522

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,003,276			
1 経常収益	996,795			
(1) 医業収益	747,522			
入院収益	691,135			
外来収益	43,130			
診療収入計	734,265			
その他医業収益	13,257			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	249,273			
(うち国・都道府県補助金)	780			
(うち他会計補助・負担金)	217,522			
(うち長期前受金戻入)	26,637			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,481			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	976,522			
2 経常費用	969,634			
(1) 医業費用	926,375			
職員給与費	643,100	86.0	55.7	61.3
材料費	59,957	8.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	25,871	3.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,097	3.4	11.0	8.2
減価償却費	79,470	10.6	9.0	10.2
経費	135,817	18.2	23.3	30.5
(うち委託料)	75,983	10.2	11.5	13.0
研究研修費	3,561			
資産減耗費	4,470			
(2) 医業外費用	43,259			
(うち支払利息)	14,045	1.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	6,888			
損益				
経常損益	27,161			
純損益	26,754			
累積欠損金	325,956			
経常収支比率	102.8		97.7	96.5
医業収支比率	80.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	80.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,679,334
1 固定資産	1,919,184
(1) 有形固定資産	1,876,787
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	42,397
2 流動資産	760,150
(1) 現金及び預金	593,993
(2) 未収金及び未収収益	165,797
(3) 貸倒引当金()	445
(4) 貯蔵品	805
3 繰延資産	-
負債合計	1,660,525
1 固定負債	1,293,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,172,393
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	121,099
(7) リース債務	-
2 流動負債	231,328
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,193
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,372
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	135,705
(1) 長期前受金	288,843
(2) 長期前受金収益化累計額()	153,138
資本合計	1,018,809
1 資本金	876,467
2 剰余金	142,342
(1) 資本剰余金	429,298
(2) 利益剰余金	-286,956
負債・資本合計	2,679,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	42,532	217,522
資本勘定繰入	33,955	33,955
計	76,487	251,477

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	綾部市
				病院名	綾部市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,662 m ²	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	206	86.7	86.3	87.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	86.7	86.3	87.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	17.3	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	33,821	
決算規模(千円)	17,257,469	
標準財政規模(千円)	9,592,032	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	129.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.4
修正医業収益(千円)	6,434,290

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,690,358			
1 経常収益	6,682,967			
(1) 医業収益	6,480,963			
入院収益	3,189,211			
外来収益	3,058,811			
診療収入計	6,248,022			
その他医業収益	232,941			
(うち他会計負担金)	46,673			
(2) 医業外収益	202,004			
(うち国・都道府県補助金)	14,850			
(うち他会計補助・負担金)	76,442			
(うち長期前受金戻入)	36,756			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,391			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,689,043			
2 経常費用	6,658,764			
(1) 医業費用	6,541,302			
職員給与費	16,224	0.3	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	355,197	5.5	9.0	9.9
経費	6,160,334	95.1	23.3	27.7
(うち委託料)	1,373	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	9,547			
(2) 医業外費用	117,462			
(うち支払利息)	35,350	0.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	30,279			
損益				
経常損益	24,203			
純損益	1,315			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		97.7	96.3
医業収支比率	99.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	1.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	1.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	1.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	98.5		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,287,736
1 固定資産	6,278,375
(1) 有形固定資産	5,579,439
(2) 無形固定資産	2,839
(3) 投資その他の資産	696,097
2 流動資産	2,009,361
(1) 現金及び預金	823,483
(2) 未収金及び未収収益	1,213,024
(3) 貸倒引当金()	27,146
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,717,135
1 固定負債	1,486,701
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,486,701
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	444,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	133,998
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,349
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	303,376
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	785,711
(1) 長期前受金	1,549,526
(2) 長期前受金収益化累計額()	763,815
資本合計	5,570,601
1 資本金	3,045,815
2 剰余金	2,524,786
(1) 資本金剰余金	149,382
(2) 利益剰余金	2,375,404
負債・資本合計	8,287,736
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	382,180	123,115
資本勘定繰入	83,459	26,885
計	465,639	150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	亀岡市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,947 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	80.0	79.4	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	80.0	79.4	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.7	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	89,479	
決算規模(千円)	36,075,363	
標準財政規模(千円)	18,683,963	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	100.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.3
修正医業収益(千円)	2,487,482

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,035,991			
1 経常収益	3,035,991			
(1) 医業収益	2,634,154			
入院収益	1,722,627			
外来収益	706,702			
診療収入計	2,429,329			
その他医業収益	204,825			
(うち他会計負担金)	146,672			
(2) 医業外収益	401,837			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	305,750			
(うち長期前受金戻入)	10,334			
(うち資本費繰入収益)	75,578			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,848,884			
2 経常費用	2,835,972			
(1) 医業費用	2,694,666			
職員給与費	1,385,106	52.6	55.7	61.3
材料費	718,697	27.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	220,616	8.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	498,081	18.9	11.0	8.2
減価償却費	168,218	6.4	9.0	10.2
経費	415,237	15.8	23.3	30.5
(うち委託料)	278,934	10.6	11.5	13.0
研究研修費	5,842			
資産減耗費	1,566			
(2) 医業外費用	141,306			
(うち支払利息)	43,606	1.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	12,912			
損益				
経常損益	200,019			
純損益	187,107			
累積欠損金	695,260			
経常収支比率	107.1		97.7	96.5
医業収支比率	97.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.1		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,957,948
1 固定資産	2,424,114
(1) 有形固定資産	2,424,114
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	533,834
(1) 現金及び預金	70,420
(2) 未収金及び未収収益	441,172
(3) 貸倒引当金()	748
(4) 貯蔵品	22,779
3 繰延資産	-
負債合計	3,297,215
1 固定負債	2,572,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,402,708
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	169,974
(7) リース債務	-
2 流動負債	557,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,080
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	277,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	166,854
(1) 長期前受金	231,314
(2) 長期前受金収益化累計額()	64,460
資本合計	-339,267
1 資本金	355,993
2 剰余金	-695,260
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-695,260
負債・資本合計	2,957,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	339,267
資本不足額(繰延収益控除後)()	172,413
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	412,422	452,422
資本勘定繰入	75,578	75,578
計	488,000	528,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	京丹後市
	病院名	京丹後市立弥栄病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,714 m ²	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	19	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	64.1	68.0	80.2
療養	49	83.7	86.3	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	68.9	72.5	81.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	19.2	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	55,054	
決算規模(千円)	34,860,491	
標準財政規模(千円)	19,753,202	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	137.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.8
修正医業収益(千円)	3,421,764

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,102,651			
1 経常収益	4,080,097			
(1) 医業収益	3,636,212			
入院収益	1,676,054			
外来収益	1,589,739			
診療収入計	3,265,793			
その他医業収益	370,419			
(うち他会計負担金)	214,448			
(2) 医業外収益	443,885			
(うち国・都道府県補助金)	12,895			
(うち他会計補助・負担金)	272,250			
(うち長期前受金戻入)	135,978			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,554			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,438,307			
2 経常費用	4,435,607			
(1) 医業費用	4,232,437			
職員給与費	1,788,363	49.2	55.7	61.3
材料費	1,053,903	29.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	745,504	20.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	273,307	7.5	11.0	8.2
減価償却費	453,380	12.5	9.0	10.2
経費	919,612	25.3	23.3	30.5
(うち委託料)	286,514	7.9	11.5	13.0
研究研修費	11,654			
資産減耗費	5,525			
(2) 医業外費用	203,170			
(うち支払利息)	37,701	1.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,700			
損益				
経常損益	-355,510			
純損益	-335,656			
累積欠損金	1,627,545			
経常収支比率	92.0		97.7	96.5
医業収支比率	85.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.0		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,796,692
1 固定資産	8,595,715
(1) 有形固定資産	8,144,662
(2) 無形固定資産	1,926
(3) 投資その他の資産	449,127
2 流動資産	1,200,977
(1) 現金及び預金	312,378
(2) 未収金及び未収収益	904,561
(3) 貸倒引当金()	39,394
(4) 貯蔵品	23,357
3 繰延資産	-
負債合計	9,834,745
1 固定負債	7,037,262
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,876,067
(2) その他の企業債	141,259
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	19,936
2 流動負債	1,993,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	505,029
(2) その他の企業債	19,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	228,622
(6) リース債務	11,665
(7) 一時借入金	840,000
(8) 未払金及び未払費用	377,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	804,385
(1) 長期前受金	4,350,718
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,546,333
資本合計	-38,053
1 資本金	809,783
2 剰余金	-847,836
(1) 資本金剰余金	2,343,503
(2) 利益剰余金	-3,191,339
負債・資本合計	9,796,692
不良債務	287,092
実質資金不足額	287,092
資本不足額(繰延収益控除後)()	38,053

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	496,917	486,698
資本勘定繰入	118,700	154,545
計	615,617	641,243

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	287,092	4.6
平成30年度	138,641	2.3
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	428,351
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	428,351
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	京丹後市
	病院名	京丹後市立久美浜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,602 m ²	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	110	87.5	90.3	87.3
療養	60	85.5	87.2	88.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	86.8	89.2	87.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.2	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	55,054	
決算規模(千円)	34,860,491	
標準財政規模(千円)	19,753,202	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	137.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.2
修正医業収益(千円)	2,347,046

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,862,474			
1 経常収益	2,803,183			
(1) 医業収益	2,543,230			
入院収益	1,506,324			
外来収益	768,203			
診療収入計	2,274,527			
その他医業収益	268,703			
(うち他会計負担金)	196,184			
(2) 医業外収益	259,953			
(うち国・都道府県補助金)	13,135			
(うち他会計補助・負担金)	113,848			
(うち長期前受金戻入)	96,830			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	59,291			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,801,366			
2 経常費用	2,798,666			
(1) 医業費用	2,691,680			
職員給与費	1,594,346	62.7	55.7	61.3
材料費	349,831	13.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	135,123	5.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	161,584	6.4	11.0	8.2
減価償却費	149,871	5.9	9.0	10.2
経費	582,755	22.9	23.3	30.5
(うち委託料)	238,890	9.4	11.5	13.0
研究研修費	13,398			
資産減耗費	1,479			
(2) 医業外費用	106,986			
(うち支払利息)	30,590	1.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,700			
損益				
経常損益	4,517			
純損益	61,108			
累積欠損金	1,563,794			
経常収支比率	100.2		97.7	96.5
医業収支比率	94.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	89.1		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,796,692
1 固定資産	8,595,715
(1) 有形固定資産	8,144,662
(2) 無形固定資産	1,926
(3) 投資その他の資産	449,127
2 流動資産	1,200,977
(1) 現金及び預金	312,378
(2) 未収金及び未収収益	904,561
(3) 貸倒引当金()	39,394
(4) 貯蔵品	23,357
3 繰延資産	-
負債合計	9,834,745
1 固定負債	7,037,262
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,876,067
(2) その他の企業債	141,259
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	19,936
2 流動負債	1,993,098
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	505,029
(2) その他の企業債	19,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	228,622
(6) リース債務	11,665
(7) 一時借入金	840,000
(8) 未払金及び未払費用	377,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	804,385
(1) 長期前受金	4,350,718
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,546,333
資本合計	-38,053
1 資本金	809,783
2 剰余金	-847,836
(1) 資本剰余金	2,343,503
(2) 利益剰余金	-3,191,339
負債・資本合計	9,796,692
不良債務	287,092
実質資金不足額	287,092
資本不足額(繰延収益控除後)()	38,053
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,350	310,032
資本勘定繰入	116,133	175,802
計	435,483	485,834

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	287,092	4.6
平成30年度	138,641	2.3
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	428,351
健全化法上の資金不足比率(%)	6.9
地財法上の資金不足額(千円)	428,351
地財法上の資金不足比率(%)	6.9

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	精華町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,910 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	92.5	91.9	95.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	92.5	91.9	95.6
平均在院日数(一般病床のみ)		39.3	30.4	32.5

設立団体の状況		
人口(人)	36,376	
決算規模(千円)	12,189,891	
標準財政規模(千円)	8,270,506	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	99.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,892			
1 経常収益	30,892			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	30,892			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,228			
(うち長期前受金戻入)	19,959			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	49,220			
2 経常費用	49,220			
(1) 医業費用	49,219			
職員給与費	8,484	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	37,987	-	9.0	11.1
経費	2,464	-	23.3	31.9
(うち委託料)	1,303	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	284			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-18,328			
純損益	-18,328			
累積欠損金	-			
経常収支比率	62.8		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	33.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	33.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	42.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	599,888
1 固定資産	588,877
(1) 有形固定資産	588,393
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	11,011
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	208
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	328,139
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	793
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	208
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	327,138
(1) 長期前受金	785,407
(2) 長期前受金収益化累計額()	458,269
資本合計	271,749
1 資本金	77,450
2 剰余金	194,299
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	194,299
負債・資本合計	599,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269	10,228
資本勘定繰入	4,735	9,470
計	5,004	19,698

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	京丹波町
				病院名	国保京丹波町病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m ²	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	8	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	47	56.6	45.8	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	56.6	45.8	59.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	20.6	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,453	
決算規模(千円)	11,530,959	
標準財政規模(千円)	6,979,011	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.8
	将来負担比率(%)	120.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.0
修正医業収益(千円)	602,636

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	926,628			
1 経常収益	926,628			
(1) 医業収益	637,233			
入院収益	259,404			
外来収益	289,153			
診療収入計	548,557			
その他医業収益	88,676			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	289,395			
(うち国・都道府県補助金)	21,333			
(うち他会計補助・負担金)	236,640			
(うち長期前受金戻入)	14,294			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	989,209			
2 経常費用	989,209			
(1) 医業費用	955,809			
職員給与費	617,380	96.9	55.7	80.8
材料費	64,807	10.2	24.7	13.8
(うち薬品費)	41,880	6.6	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,500	2.6	11.0	4.9
減価償却費	82,956	13.0	9.0	12.9
経費	189,077	29.7	23.3	47.4
(うち委託料)	116,765	18.3	11.5	20.7
研究研修費	1,312			
資産減耗費	277			
(2) 医業外費用	33,400			
(うち支払利息)	7,509	1.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-62,581			
純損益	-62,581			
累積欠損金	357,447			
経常収支比率	93.7		97.7	96.7
医業収支比率	66.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.3		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	42.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	66.3		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,894,968
1 固定資産	1,503,435
(1) 有形固定資産	1,463,662
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	39,773
2 流動資産	391,533
(1) 現金及び預金	267,344
(2) 未収金及び未収収益	120,267
(3) 貸倒引当金()	2,607
(4) 貯蔵品	6,529
3 繰延資産	-
負債合計	758,236
1 固定負債	427,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	427,381
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	131,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,172
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,998
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	199,642
(1) 長期前受金	398,171
(2) 長期前受金収益化累計額()	198,529
資本合計	1,136,732
1 資本金	1,455,973
2 剰余金	-319,241
(1) 資本剰余金	32,516
(2) 利益剰余金	-351,757
負債・資本合計	1,894,968
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	268,722	271,237
資本勘定繰入	31,900	31,900
計	300,622	303,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	56.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合
				病院名	京都中部総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,447 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	450	73.0	71.7	72.0
療養	-	-	-	-
結核	10	6.7	14.9	19.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	464	71.0	69.8	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.8	15.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収益(千円)	9,770,069

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,858,509			
1 経常収益	10,858,509			
(1) 医業収益	9,900,069			
入院収益	6,457,024			
外来収益	3,082,317			
診療収入計	9,539,341			
その他医業収益	360,728			
(うち他会計負担金)	130,000			
(2) 医業外収益	958,440			
(うち国・都道府県補助金)	54,505			
(うち他会計補助・負担金)	171,838			
(うち長期前受金戻入)	42,998			
(うち資本費繰入収益)	397,601			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,830,873			
2 経常費用	10,830,873			
(1) 医業費用	10,128,518			
職員給与費	5,050,027	51.0	55.7	54.0
材料費	2,157,365	21.8	24.7	26.9
(うち薬品費)	908,973	9.2	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,248,392	12.6	11.0	12.2
減価償却費	687,805	6.9	9.0	7.9
経費	2,189,386	22.1	23.3	19.2
(うち委託料)	1,187,166	12.0	11.5	9.3
研究研修費	30,346			
資産減耗費	13,589			
(2) 医業外費用	702,355			
(うち支払利息)	55,240	0.6	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	27,636			
純損益	27,636			
累積欠損金	482,026			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	97.7		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	2.8		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	3.0		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	2.8		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	97.5		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,246,647
1 固定資産	10,385,692
(1) 有形固定資産	8,535,833
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,849,859
2 流動資産	4,860,955
(1) 現金及び預金	2,347,162
(2) 未収金及び未収収益	2,493,963
(3) 貸倒引当金()	16,100
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,465,339
1 固定負債	3,259,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,259,028
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,995,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	553,239
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	517,115
(6) リース債務	483
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	855,681
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,210,330
(1) 長期前受金	2,156,865
(2) 長期前受金収益化累計額()	946,535
資本合計	8,781,308
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	1,042,320
(1) 資本剰余金	1,001,346
(2) 利益剰余金	40,974
負債・資本合計	15,246,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	661,253	301,838
資本勘定繰入	397,601	397,601
計	1,058,854	699,439

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合
				病院名	京都山城総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,992 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	311	74.7	73.1	72.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	0.6	-	-
計	321	72.4	70.8	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.3	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.8
修正医業収益(千円)	7,004,009

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,653,958			
1 経常収益	7,653,844			
(1) 医業収益	7,059,928			
入院収益	4,350,112			
外来収益	2,387,634			
診療収入計	6,737,746			
その他医業収益	322,182			
(うち他会計負担金)	55,919			
(2) 医業外収益	593,916			
(うち国・都道府県補助金)	44,192			
(うち他会計補助・負担金)	318,255			
(うち長期前受金戻入)	112,017			
(うち資本費繰入収益)	78,524			
(3) 特別利益	114			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,650,107			
2 経常費用	7,608,729			
(1) 医業費用	7,237,813			
職員給与費	3,497,560	49.5	55.7	57.0
材料費	1,782,246	25.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	928,965	13.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	798,138	11.3	11.0	11.3
減価償却費	413,269	5.9	9.0	9.3
経費	1,499,295	21.2	23.3	22.1
(うち委託料)	606,921	8.6	11.5	11.1
研究研修費	17,413			
資産減耗費	28,030			
(2) 医業外費用	370,916			
(うち支払利息)	87,104	1.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	41,378			
損益				
経常損益	45,115			
純損益	3,851			
累積欠損金	579,940			
経常収支比率	100.6		97.7	96.4
医業収支比率	97.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	95.7		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,893,501
1 固定資産	7,199,142
(1) 有形固定資産	6,764,894
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	433,620
2 流動資産	2,694,359
(1) 現金及び預金	1,430,920
(2) 未収金及び未収収益	1,171,910
(3) 貸倒引当金()	932
(4) 貯蔵品	92,461
3 繰延資産	-
負債合計	6,210,478
1 固定負債	3,838,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,838,178
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,307,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,057
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	224,153
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	488,206
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,064,496
(1) 長期前受金	2,327,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,263,444
資本合計	3,683,023
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	-579,940
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-579,940
負債・資本合計	9,893,501
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	478,943	374,174
資本勘定繰入	356,371	232,603
計	835,314	606,777

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。